

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日: 31年 3月 11日

事業所名: 放課後等デイサービス ハイ・にこ・ポン

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	法令に遵守したスペースを確保しています。支援の内容に合わせて1F・2Fを使い分けたり、集中しやすい空間づくりなどの配慮を行っています。	はい:10 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	適宜、安全で快適な療育が提供できるような環境整備を行います。
	2 職員の適切な配置	利用人数に応じて、必要とされる人員配置ができています。	はい:10 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	今後も継続します。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	イラストや色分けによる表示、階段に滑り止め素材を使用するなどの環境整備を行っています。	はい:7 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:3	個性に合わせて環境を整備する事を随時行い、保護者の方に発信します。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	通所前・後に、清掃と消毒を行っています。	はい:10 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	今後も継続します。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	児童発達管理責任者を中心として、職員からあがった業務への疑問や必要性について仕組みづくりを行っている。		業務改善にともなって、マニュアルなどの追加や変更などを継続します。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在は実施していません。		事業所の動きが安定するであろう3年後を目安に、検討したい。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	内部研修だけでなく、外部から講師を招いての研修を行いました。		年に1回は参加を実施していく予定。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	サービス等利用計画の内容に沿い、支援中の本人の様子や保護者との面談から、必要と考えられる個別支援計画を作成しています。	はい:10 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	今後も継続します。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団活動は行っていますが、計画書には個別活動についての記載をしています。		今後も継続します。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	職員全員が支援内容を理解して、支援を行って記録ができるように、具体的な記載を行っています。	はい:10 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	今後も継続します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援開始前に、支援計画内容と個々の職員の具体的な役割を確認していますので適切な実施ができています。	はい:10 どちらとも:0 いいえ:0 わからない:0	今後も継続します。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	担当職員が、年間をととしてプログラムを立案しています。		今後も継続します。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は、個別支援が中心です。休日や長期休暇には、家族負担の軽減も兼ねて、昼食を作って食べる集団活動を取り入れています。また、大きな公園や博物館などに出かけて五感を刺激する機会を設けています。		今後も継続します。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	月行事や、季節に応じたプログラムを意識してとりいれています。	はい:10 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	今後も継続します。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	児童発達管理責任者が、支援開始前に支援内容の確認と個々の職員の具体的な役割を伝えています。		今後も継続します。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後だけでなく、小規模な施設の利点を生かして、都度気づきや振り返りを行って記録をしています。また、連日出勤していない職員でも、記録を読んで支援に入ること徹底していますので共有化できています。		今後も継続します。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	記録時間を意図的に設けて、徹底に努めています。また、必要があれば支援の見直しをしています。		今後も継続します。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に1回のモニタリングをおこなっています。その際に、計画の見直しを行い保護者に説明を行っています。		今後も継続します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	児童発達管理責任者が参加して、職員に内容を周知しています。	今後継続します。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当者なし。	今後、該当することがあれば適切な連携を図ります。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当者なし。	今後、該当することがあれば適切な連携を図ります。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	相談支援専門員を通して、他事業所や学校との情報共有を行っています。	今後継続します。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	必要に応じて、情報の提供を行っています。	今後継続します。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関からの助言はいただいています が、研修参加ができていません。	今後継続します。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	実施していません。	はい:1 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:9 積極的に機会を持つことのメリットを、現時点では考えることができないため実施の予定はしていません。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	散歩時の挨拶や畑での作業時の交流は行っている。	今後継続します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学时、契約時、計画立案時に説明しています。	はい:9 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:1	不明点がないか、保護者に確認をとりながら説明を行います。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	児童発達管理責任者が計画の説明を行っています。なるべく、わかりやすい言葉を使うよう気をつけています。	はい:9 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:0	説明時間が確保できるように改善します。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングの勉強会を、保護者向けに行いました。	はい:8 どちらともいえない:1 いいえ:1 わからない:0	前回、参加できなかったためにも再度勉強会を予定します。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	支援内容の連絡帳に記載するだけでなく、送迎時に直接保護者に伝えることも行っています。その際に、家での様子や近況の聞き取りもしています。	はい:9 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:0	共通理解ができるように、どのような工夫ができるのかを検討します。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	ご相談いただいたことに対しては、真摯に対応しています。	はい:9 どちらともいえない:0 いいえ:1 わからない:0	適切な対応や助言とは何かを、職員で考えて満足度が向上するよう努めます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	母親会、父親会を行いました。	はい:7 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:2	今後も継続します。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情窓口について、契約時に説明しています。送迎時など、少しでも保護者の方とコミュニケーションをとる時間をつくり苦情が伝えやすいようにしています。	はい:8 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:2	苦情窓口について、再度周知をおこないます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	書面による伝達だけでなく、送迎時に顔を見ながら話をすることで、ご理解いただいているのか確認するようにしています。	はい:10 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	今後も継続します。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月のおたよりだけでなく、母親会・父親会・勉強会などがあれば都度、別紙でお伝えしています。	はい:10 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	今後も継続します。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	重要事項説明書以外にでも、独自でも個人情報についての取り扱いについて同意をいただいている。	はい:10 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	今後も継続します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	防犯マニュアル以外は、作成できている。保護者への周知は行えていない。	はい:5 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:5	母親会・父親会などの機会に、周知を行う予定です。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	実施していない。	はい:4 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:6	今年度中には、実施ができるようにします
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	研修を行っています。		年に1度は、内部研修を定着させて虐待についての知識の再確認を行いたいと考えています。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	該当者なし。		該当を検討するようなことがあれば、事業所内だけでなく、他の機関にも連携をとり、十分に検討をして取り組みます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者から聞き取りを行い、個別に対応しています。		今後も継続します。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットとその内容の検討が行えるように工夫した独自の書式を作成して、事業所内で検討・共有ができるしくみがある。		今後も継続します。